

| | |
|---|--|
| ジメタメトリン・ピラゾレート・プレチラクロール・ベンフレセート剤 ウリホス (1キロ粒剤 / フロアブル) | 取扱メーカー： ホクサン 原体メーカー： 日産、三井アグロ、シンジェンタ、OAT |
| 成分： ジメタメトリン〔トリアジン系〕…0.60% (粒剤), 0.60% (フロアブル) ピラゾレート〔ピラゾール系 PRTR・1種〕…18.0% (粒剤), 18.0% (フロアブル) プレチラクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕…3.0% (粒剤), 3.0% (フロアブル) ベンフレセート……………3.0% (粒剤), 3.0% (フロアブル) | 性状： 類白色細粒 (粒剤) 類白色水和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) 毒性： 普通物 消防法： — |

【品目特性】…………… 〈共通〉

- 一年生雑草や多年生雑草に優れた効果を発揮する。さらに、アオミドロなどの藻類、表層はく離の発生を抑制する。
- 数少ない非スルホニルウレア系一発処理除草剤で、問題雑草に優れた効果を発揮する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………… 〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 優れた効果を発揮させるため、代かきから田植までの期間はできるだけ短くし、田植後3～10日までに散布するのが望ましい。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので必ず適期に散布する。

| 雑草名 | 散布適期 | |
|------------------|------------|-------|
| | 粒剤 | フロアブル |
| ホタルイ | 発生前～発生始期まで | 2葉期まで |
| ウリカワ | 発生前～2葉期まで | |
| へらオモダカ | — | — |
| エゾノサヤヌカグサ | 発生始期～2葉期まで | 2葉期まで |
| ヒルムシロ | 発生期まで | — |
| アオミドロ・藻類による表層はく離 | 発生前 | |

【薬効・薬害等の注意】…………… 〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 泥炭質土壌の水田で使用する場合、ウリカワには効果が劣ることがあるので、ウリカワ多発田では使用しない。
- 活着遅延を生じようとする異常低温が予測されるような時は、初期生育の抑制などを生じるおそれがあるので、このような条件での使用に際しては病害虫防除所など関係機関の指導を受ける。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

〈粒剤〉

- 無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

〈フロアブル〉

- 本剤が稲体に多量に付着すると薬害を生じるおそれがあるので、できるだけ稲体に付着しないように散布する。

【安全対策上の注意】…………… 〈共通〉



【適用と使用方法】

①ウリホス1キロ粒剤

| 作物名 | 適用雑草名 | 適用土壌 | 使用時期 | 10 a 当り 使用量 | 使用 方法 | 適用 地帯 | 本剤の 使用回数 |
|----------|---|------------|------------------------------------|----------------|-------------------------------------|----------|-------------|
| 移植 水稻 | 水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ヒルムシロ エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類 による表層はく離 | 砂壤土～ 埴土 | 移植直後～ ノビエ2葉期 但し、 移植後30日まで | 1 kg | 湛水散布 又は無人 ヘリコプ ターによ る散布 | 北海道 | 1回 ※ |

※ジメタメトリンを含む農業の総使用回数 : 2回以内
 ※ピラゾレートを含む農業の総使用回数 : 2回以内
 ※プレチラクロールを含む農業の総使用回数 : 2回以内
 ※ベンフレセートを含む農業の総使用回数 : 2回以内

②ウリホスフロアブル

| 作物名 | 適用雑草名 | 適用土壌 | 使用時期 | 10 a 当り 使用量 | 使用方法 | 適用 地帯 | 本剤の 使用回数 |
|----------|--|-------|------------------------------------|----------------|----------------------|----------|-------------|
| 移植 水稻 | 水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類 による表層はく離 | 壤土～埴土 | 移植直後～ ノビエ2葉期 但し、 移植後30日まで | 1 ℓ | 原液湛水 散布又は 水口施用 | 北海道 | 1回 ※ |

※ジメタメトリンを含む農業の総使用回数 : 2回以内
 ※ピラゾレートを含む農業の総使用回数 : 2回以内
 ※プレチラクロールを含む農業の総使用回数 : 2回以内
 ※ベンフレセートを含む農業の総使用回数 : 2回以内